



こいのぼりが天高く空を泳いでいます。新年度がスタートして1カ月が経ちました。新しい生活で緊張気味だった子どもたちも、今ではすっかり全力で保育園生活を楽しんでいます。



☆☆今月のテーマ☆☆

- ・園生活のリズムに慣れ、安心して過ごす
- ・身近な自然に触れ、戸外であそぶ気持ち良さを感じる



ひよこぐみ (0歳児)



初めての保育園生活にも少しずつ慣れ、気になるおもちゃに手を伸ばしたり、キョロキョロと周りの様子を観察する姿が見られるようになりました。保育者に見守られながら、安心して過ごしています。ベビーカーでお散歩に行くと、車や電車の音に反応していたので天気の良い日は、どんどん戸外に出かけようと思います。これからも気持ちに寄り添いながら、安心できる環境づくりを大切に、心地よく過ごせるようにしていきます。



うさぎぐみ (1歳児)



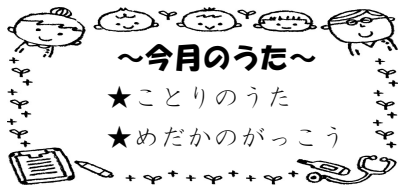
うさぎぐみは13名でスタートしました。保護者から離れた当初は不安な表情で涙が出ることが多かった新入園児でしたが、進級児のお友だちが頭を撫でてくれたり、玩具を貸してくれたりするうちに涙も止まり、笑顔で過ごせるようになっていきます。また生活の流れにも慣れてきて、集団での活動も少しずつ増えています。子どもたちはお散歩が大好き！色とりどりの花を見たり、そよ風に吹かれたりと春の自然を感じながら心地よさそうな表情でお散歩を楽しんでいます。これからも好奇心を大切に見守りながら、どんどん新しいことに挑戦していきたいと思ひます。



ぱんだぐみ (2歳児)



2名のお友だちを迎え、15名でスタートしたぱんだぐみ。新しい友だちが泣いていると頭を撫でてたり、変な顔を見せて笑わせようとするなど、優しいお兄さん・お姉さんの姿が見られます。朝の歌の合図、給食時の合掌の声かけなどを行う、お当番活動が始まりました。みんなの前に立つことを恥ずかしがる子もいますが「今日は自分の番かな？」と心待ちにして頑張っています。今まで保育者と一緒に行っていた食後の歯みがきも自分たちで磨いて、うがいができるよう練習中です。日々の活動の中で自分たちでやりたい！という場面がよく見られるので、子どもたちの意欲を大事にし、伸ばしていけるような活動やサポートをしていきたいと思ひます。



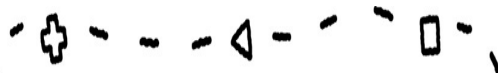
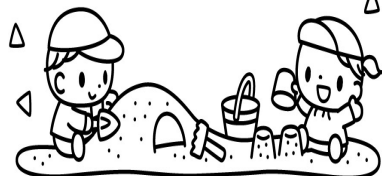
～今月のうた～

- ★ことりのうた
- ★めだかがっこう



～行事予定～

- ・身体測定…14日
- ・体操教室…18日
- ・誕生会…20日
- ・英語教室…26日
- ・リミック教室…26日
- ・避難訓練…27日



★5月のイヤイヤ期！？★

4月からの環境の変化などにより、疲れが溜まり、眠れない、起きられない、食欲がない、イライラする、無気力などの症状が見られることがあります。

★5月イヤイヤ期の脱出方法★

- ・お風呂に浸かり、心身の疲れを取る
- ・たくさん身体を動かして元気よく遊ぶ
- ・早寝早起き、睡眠時間の確保
- ・3食しっかり食べる



給食だより

～豊かな味覚形成は乳幼児期から～

普段食事をする中で様々な味を感じています。これが味覚です。味覚には、甘味、塩味、うま味、苦味、酸味があります。甘味や塩味やうま味は、生きていくために体に欠かせないものとされ、本能的に好まれる味とされています。それに対して苦味や酸味は腐敗や毒の存在を教える役割があり、本能的に嫌う味とされています。そのため、子どもは野菜の苦みや果物などの酸味が苦手になりやすいです。苦味や酸味は、繰り返し食べていくうちにその味を受け入れられるようになっていきます。子どもが食べないからといって食卓に出さないのではなく、まだ食べられるようになっていないのだととらえ、少しでも口にしたら褒める、家族がおいしそうに食べる姿を見せるなどして食べてみようという意欲を引き出しましょう。何度も食卓に登場させることで、見慣れたもの、食べ慣れたものに安心感を覚え苦手なものが少なくなっていきます。市販のスナック菓子やチョコレートは塩分や砂糖がたくさん含まれています。また、加工食品やインスタント食品は濃い味付けになっています。幼い頃からこの味に慣れてしまうと、食材の味がわからなくなるばかりか、薄味のものを受け入れることが難しくなります。知らず知らずのうちに塩分や砂糖のとりすぎで、生活習慣病のリスクも高まります。そうならないためにも、味覚が形成される乳幼児期に、薄味を基本に食材本来の味をたくさん経験させて子どもの味覚を発達させましょう。保育園の給食でも様々な味を経験することで豊かな味覚が育ってほしいと思ひています。